

～よしの病院とのコラボ企画 第3弾～

医療法人社団 正心会

よしの病院

電話予約はこちら

☎ 042-791-0734

受付時間 9:00～17:00
(初診、入院の相談は 16:00 まで)
※初診は予約制となります。

〒194-0203

東京都町田市図師町 2252 番地



よしの病院 院長
河本泰信

院長ご挨拶

当院には、うつ病、統合失調症、神経症や適応障害、認知症そしてアルコールおよびギャンブル等依存症など、様々な精神障害を抱えた人が訪れます。ご利用くださった方がその人らしく暮らしていけるよう、専門性に基づいた、あたたかい診療を行うことを職員一同心がけています。現代は少子高齢化、雇用不安定などストレスが多い時代です。不透明で希望がもてなくなるせいか、精神障害に悩む方が増えています。

お悩みのご本人、ご家族は是非ご相談ください、また当院では依存症家族会も開催しております。今回はお酒(アルコール依存症)の治療に関する事の第1回目になります。是非ご一読下さい。

アルコール依存症

アルコール依存症という病気は、お酒の飲み方が通常とは違う飲み方になってしまった、といった単純な「モラル」の問題ではありません。「アルコール」という合法的な依存性のある薬物を長期間大量に摂取することにより、コントロールして飲酒ができなくなる病気です。一般的に断酒の継続を目標とするが、当院では、断酒の苦痛を軽減した治療を実践しています。また当院では、外来サービスの充実にも注力しています。定期開催している独自プログラム(YAP)に参加すれば、自身に適したモデルが見つかります。

自分に合った 5 つの治療モデル

認知モデル(飲酒の影響が正常に判断できない)
主な治療法
→認知行動療法で判断の歪みを認識させる

欲望モデル(万能感などの欲望を飲酒で満たす)
主な治療法
→作業療法で飲酒に代わる活動を探す

疾患モデル(脳神経の変化や遺伝の影響)
主な治療法
→薬物療法で飲酒欲求を抑える

力動モデル(不快な現実から逃避する)
主な治療法
→カウンセリングで悩みを聞き助言する

環境モデル(外部環境にストレスを感じる)
主な治療法
→入院やデイケアで環境を変える

次回断酒・節酒の具体的な入院治療を掲載いたします。

発行 町田市南第1高齢者支援センター 担当エリア:南町田・鶴間・小川・つくし野・南つくし野

住所:町田市南町田 5-16-1 電話:042-796-2789

小川あんしん相談室

住所:町田市小川 6-1-11 電話:042-812-2127

開所時間:月曜日～土曜日 8:30～17:00 (日祝休日・12/29～1/3 を除く)

ご相談はお電話で予約をお取りいただくとスムーズにご案内できます。

総合福祉ホーム芙蓉園のホームページでも地域の皆様向けの情報を発信しております。

ぜひご一読下さい。 <https://fuyouen.jp>

編集:板垣・亀田・増田

